

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2020. 10. 8

第12号

いきいき なかよく ほこりを持って

一日授業参観ありがとうございました

10月3日(土)は、一日授業参観にご来校くださり、誠にありがとうございました。今年度初めての授業参観に、子ども達大いに張り切って取り組んでいたと思います。

また、保護者の皆様の応援をいただき、持久走大会の子ども達の走りは格別に素晴らしかったと思います。3年男子800mで大会タイ記録(3分6秒)を横澤蒼祐くんがマークしました。おめでとうございます。

さて、この紙面では、養護教諭が述べた本校の感染症予防の取り組み、学校薬剤師佐藤仁氏、飯豊町健康福祉課伊藤明美保健師の資料から、要点をまとめて報告します。

<本校の感染症予防の取り組み：遠藤優美養護教諭>

1 学校での感染症予防の取り組みについて

(1) 健康観察カードの利用

- ・ 朝学校に来たらすぐに提出。カードで発熱等の症状がないか等を確認してから朝運動。

(2) 消毒、手洗い、うがい

- ・ 消毒液は、玄関、トイレ前、教室前に設置。子ども達が自ら進んで消毒。
- ・ 校舎内のドアノブや、玄関・廊下、理科室や家庭科室等の特別教室も1日に1回以上消毒。
- ・ 水飲み場とトイレは密を避けるために、学年の使用場所を指定。

(3) クラスでの様子(3密を避ける)

- ・ 飯豊町建設業親睦会よりいただいた机用パーテーションは、学年で必要に応じて使用。
- ・ 座席は1m以上の間隔を開ける。パーテーション不使用の場合、話し合い活動はしない。
- ・ 給食前に給食台や児童の机を消毒。給食中は前を向いて、話をせずに食べる。
- ・ 休み時間は終了後の手洗いうがい、手の消毒。外遊びの時はマスクを外して遊ぶ。

(4) 掃除

- ・ 2学期は感染症警戒情報がレベル1の状態のため、縦割り班での清掃。
- ・ 清掃中はマスク着用、換気、清掃後の手洗いうがいを徹底。
- ・ トイレ掃除は、手洗い場と便器等があるエリアを分け、手袋を着用、清掃後の手の消毒。

2 学校からご協力をお願い

- ・ 水分補給の水筒は、今後はうがいのため持参を継続。中身はお茶か水。
- ・ マスクの予備を準備いただければありがたい。また、マスクに記名をお願いしたい。

今後の新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染状況や社会情勢をふまえ、今後も感染予防にいっそう力を入れていきたい。

<感染症予防の重要性：学校薬剤師佐藤仁氏>

◎ 感染が成立するための3要素(病原体、感染経路、宿主)

- 1 飛沫感染 (対策の基本) 病原体を含む飛沫を吸い込まない 咳エチケット こまめに手を洗う
- 2 空気感染 (対策の基本) 発症者の隔離と部屋の換気 ×密閉空間 ×密集場所 ×密接場面

- 3 接触感染 (対策の基本) 手洗いなどで手指を清潔に保つ
- 4 経口感染 (対策の基本) 食材の衛生的な取り扱い、適切な温度管理、十分な加熱

☆ 健康の3原則 ～ 適度な運動、栄養バランスのとれた食事、十分な睡眠

<家庭での感染予防のポイント：健康福祉課伊藤明美保健師>

- 1 手を洗う ～ 石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後流水で15秒すすぐ(2回繰り返す)
- 2 まき散らさない ～ 咳エチケット、マスク使用、ティッシュ・ハンカチ等で口・鼻を覆う、換気
- 3 ウイルスを除去 ～ 80度の熱水に10分さらす、塩素系漂白剤、界面活性剤が含まれる洗剤
- 4 免疫力を落とさない ～ バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠

☆ 予防接種を適切な時期に受けましょう。

<ミニコラム> 子どもの心とことばを育てるために(その7)

「ペアレントトレーニング(PT)」について

ペアレントトレーニングは、子どもをほめてしつけることによって、その行動を改善する方法です。

詳しくは、下記の文献でご理解いただければと思いますが、ここでは、その考え方を紹介したいと思います。大切なポイントは、「よいことをした子どもに注目を与える(相手をしてあげる)」ことで、逆にいうと、悪いことをした子どもには注目を与えない(相手をしてあげない)ということです。つまり、

増やしたい行動 → ほめる・相手をする

減らしたい行動 → 相手をしない(無視する) ※自閉症児には「してみせて、真似させる」

絶対に許せない行動 → すぐに止める

という接し方です。記録をとりながら、上の3つに分けて対応していくと、しだいにその基準が明確になってきます。

次に、増やしたい行動をほめるために、ほめるポイントを探すこともトレーニングです。次の例題で、どこをほめますか？ そして、その時の言葉がけをどうしますか？

- (例題1) 麻由子ちゃんは、お母さんに、服を着替えるように言われました。服を着ようとした時に、途中であきてしまいました。服を半分着たまま、テレビを見ようとしています。
- (例題2) 麻由子ちゃんは、学校に行こうとしています。筆入れを机の上に忘れたままです。靴を履きましたが、左右が逆になっています。
- (例題3) 麻由子ちゃんは、お姉ちゃんと遊ぼうとしています。美里お姉ちゃんとトランプで遊びはじめましたが、自分が負けそうになると、ルールを破って、自分だけが勝つようにズルをしています。ズルをしようとしているのが、バレバレです。美里お姉ちゃんは怒っています。

《正解例》(括弧内は言葉がけの例)

- (例題1) ① すぐに着ようと思いました。(「早いね。」「素早いね。」)
② 半分まで着ました。(「似合っているね。」「かっこいいね。」)
- (例題2) ① 自分から学校に行こうとしています。(「時間通りだね。」)
② 筆入れを忘れたものの準備はしました。(渡しながら「惜しい!」)
③ 靴を履き始めました。(笑いながら「かっこつけようね!」)
- (例題3) ① 自分からお姉ちゃんと遊ぼうとしています。(「仲良しだね。」)
② お姉ちゃんとトランプという好ましい行動です。(「静かにやっていて、いいね!」)
③ ルールが分かっています。(「賢いね。どうするの?」)
④ バレバレなら注意できます。(「美里お姉ちゃん、ありがとう。立派だね。」)

このような言葉を、明るい表情で、朗らかに、子どもの目を見つめて、ゆっくり聞こえやすいように話します。このようにして、増やしたい行動(望ましい行動)を強化していくのです。

<文献> 『マンガでわかる魔法のほめ方PT』、横山浩之著、小学館